

平成 26 年度第 1 回静岡県河川審議会での主な委員意見について

分類	No.	委員意見
治水	①	中上流域の緑の質という観点から、竹林化などの山林の問題を検討していただきたい。
	②	斜面崩壊は砂州等の材料を供給している面もあり、土砂供給と防災を両立するように検討していただきたい。
利水	③	下田は観光を中心としている。これからのまちづくりもやはり観光抜きには考えられないと思う。流域における観光資源と河川の関係を表現してほしい。
環境	④	海とのつながりが重要なポイントであるので、津波対策水門の検討の際には、治水だけでなく、土砂や生物の移動性などの環境面も考慮していただきたい。
	⑤	水辺へのアクセスが悪いということは、三面張りの整備になっているからであり、人だけでなく自然にもよくない。改修にあたっては、治水だけでなく環境への配慮も必要であることを記載していただきたい。